

指定管理施設の管理運営状況のまとめ(令和元年度分)

施設名 湖北ファミリー農園
 指定管理者 株式会社さんびる
 担当課 農政課
 指定期間 平成29年4月1日～令和2年3月31日

1. 総合評価

市	A	【優れていると評価した点】 施設の清掃、農園備品の整備や空き区画や共有部分の管理など、農園施設の基本的な管理が丁寧に行われており、モニタリングの結果からも使用者が気持ちよく農園を使用できているなど、満足度の高さが伺える。不測の事態に対しても、組織力を活かして迅速な対応がなされ、使用者と管理者の信頼関係の構築につながっている。大きなトラブルは発生しておらず、適切な管理が行われている。 【評価できない、または改善すべき点】 使用者の増加にむけ、広報活動を積極的に実施しており、前年度よりも使用を開始する者は多かったものの、高齢化による使用中止の申し出も毎年一定数あるため、大幅な使用者増加にはつながっていない。新規利用者への周知に合わせ、使用区画の増加につながるよう、魅力ある作物の紹介や、作付の講習などPR活動等の実施が必要である。
	A	【優れていると評価した点】 新規募集の冊子を増刷し、公民館やスーパーなどに設置したり、ホームページでの農園PRの強化実施・弊社の社員に向けた広報紙を使った募集案内の掲載、その他、多目的広場を一般利用者に貸し出しを行い、マルシェイベントと連携し、農園をたくさんの方々に知って頂くようなPRブースの設置するなど様々な活動を行い、農園利用者の獲得に努めた。秋の感謝祭では農園利用者から出演希望があり日頃趣味で練習をされている演芸を披露する場を提供でき大変喜んで頂けた。また、島根大学の学生達に司会を依頼し若い世代に湖北ファミリー農園を知ってもらえる事が出来た。 【評価できない、または改善すべき点】 広報活動について積極的に行って参りましたが、思ったような利用区画の増加につながらなかった。次年度は新しく農園を借りて野菜づくりをしてみたい方や現在の使用者が現状の区画とは別に新たな区画を借り野菜づくりをしてみたいと少しでも興味をもって頂けるような仕掛けを、JA様のご協力なども頂きながら使用区画が増加していくような活動を強化していきます。

2. 施設利用の増減について

総括	農園使用者のニーズに応えサービス向上につなげるため、ファミリー農園の形状に合った肥料や土壌改良材を選んで販売したり、苗生産者と直接契約をして安価で優良な野菜苗を販売するなど、自主事業に力を入れており、収入を上げている。「手ぶらで野菜作り」をキャッチフレーズに、便利な環境作りを重点をおいた事業展開をしているが、農園の利用者が高齢化で使用中止をする一方で、社会的に進む定年後の再雇用や定年延長により、農園で家庭菜園を楽しむための余暇・時間は減っており、新規の申込者の大幅な増加にはつながっていない。現在の使用者を複数区画利用に誘う、また、若者の興味を引くようなPRをするといったアイデアを期待する。
----	---

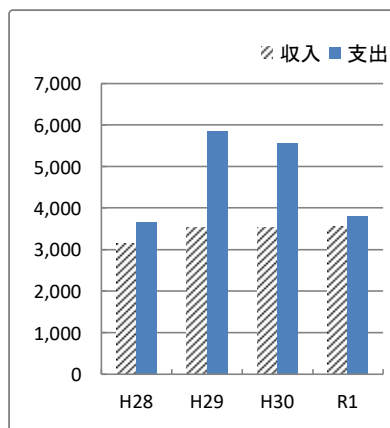
(1) 収支状況の推移（自主事業を除く）

(千円)

項目\年度	H28	H29	H30	R1
施設の収支	収入	3,147	3,530	3,530
	うち指定管理料	3,147	3,530	3,530
	うち利用料	0	0	0
	支出	3,648	5,854	5,576
	差引	△ 501	△ 2,324	△ 2,046

上記以外の市の収入、支出

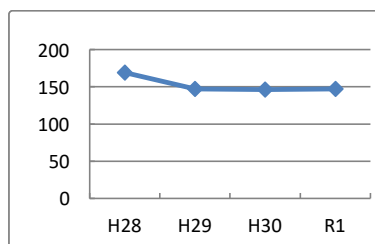
市の収支	収入(使用料)	2,501	2,324	2,211
	支出	2,978	2,978	2,774
	うち市の修繕費	0	0	0



(2) 利用者の推移

(人)

H28	H29	H30	R1
169	147	146	147



【参考】産出指標(アウトプット)・成果指標(アウトカム)の達成状況

指定管理者が管理する公の施設は、市の施策を実現するために設置されたものですが、その設置目的の多くは抽象的なものとなっています。この設置目的を効果的に実現するためには、市が目標(指標)を具体的に示し、指定管理者と共有した上で施設の管理運営を行うことが大切です。

さらに、目標(指標)がどれだけ達成されたかを客観的に評価するため、指定管理者の活動の結果(アウトプット)や活動からもたらされた成果(アウトカム)を数値化し、市民の皆さんへ公表します。

- A 基準値 : 指定管理者募集の際に、市が提示した指標の値
- B 目標値 : 市が提示した基準値に対し、申請時に指定管理者が提案した値
- C 実績値 : 当該年度の実績の値

分類	指標	A 基準値	B 目標値	C 実績値	目標に対する達成度 C/B	基準に対する達成度 C/A
アウトプット	利用者数(使用農園区画数)	180	190	147	77.4%	81.7%
	利用者アンケート満足度(%)	80	85	100	117.6%	125.0%
アウトカム	○農業に対する理解が深まること ○農作業を通じ健康とゆとりのある生活に資すること	70	70	70		
	達成度平均				97.5%	103.3%

達成度に対する意見	指定管理者	市
	【達成度に寄与した・有効だった取組みの内容、次期に向けた課題】 弊社独自の環境整備による屋内外休憩棟の美化と、多数の社員での草刈り実施で農園内の環境美化に努めた。自主事業では農業教室で講師が見つからず開催出来なかった事で使用者の農業に対する理解を更に深めてもらう事に寄与することが出来なかった。今後は使用区画数を増やすためにもっと多くの幅広い世代に農園を知って頂き、農業の楽しさを伝えるための広報活動を考え、実施していく必要がある。	【達成度の原因・分析】 利用者数について、高齢化を理由とする使用中止がほとんどであり、このことへの対策は困難と思われる。そのため中止の数を上回る新規使用者獲得や複数区画使用に向けた策が必要。 満足度については、行き届いた清掃や設備の管理により非常に良い結果となった。中止者の増加を防ぐことにもつながっているため、現在の管理を維持してほしい。

(3) 利用者アンケート

回答数	施設職員の対応・態度等、施設管理やサービスについて	主な意見
128	Q.「スタッフの対応」 Q.「施設の清潔さ」 Q.「利用しやすさ」 の回答合計 ①満足している 91件(71%) ②ふつう 28件(22%) ③満足していない 9件(7%)	①良い 親切、対応が良い、トイレが綺麗 ②苦情 農機具を使用した後、洗ってないなど使用者のマナーが悪い (対応:注意喚起貼り紙を設置) ③要望 犬猫が農園に入らないように

(4) 住民サービス向上の事例

農園は植栽に囲まれ、芝生の広場があるなど、空き農園の管理以外にも手入れが必要な部分が多い。組織力を活かし、頻繁に草刈りを実施するなど使用者が農園を使用しやすい環境整備が実施されていた。

3. 自主事業

総括	わらや堆肥、土壌改良材など農園利用者のニーズやファミリー農園の形状に合わせた物資の販売が実施されている。 また、農業経験があまりない人でも気軽に利用できるよう、農業教室開催や指導にむけた意欲が見られる。
実施状況	わらや堆肥、土壌改良材などの販売(随時) 農作業に詳しい管理人の選定

4. 特記事項

当初自主事業として予定されていた農業教室については、講師が不在であったため実施できなかったが、次年度にむけては開催の目途がたっている。また、夏野菜苗の販売については、苗が病害虫被害をうけ十分な品質を確保できなかったため中止した。

5. 今年度の目標・課題

・農園施設の維持、管理はこれまで通り実施。あわせて、使用者のニーズに丁寧な対応を行う。
 ・新規利用者の発掘、現使用者の複数区画使用を誘う仕掛けづくりなどJAの協力を得ながら使用区画の増に向けた活動や広報の方法について検討をする。